

令和2年度上島町総合防災訓練の実施について

令和2年度上島町総合防災訓練を、次のとおり実施します。

- 日時 5月31日(日)  
午前8時頃～(小雨決行)  
予備日 6月7日(日)
- 場所 上島町全域  
※午前8時頃に、避難訓練のための一斉放送を行います。避難後は、各地区における訓練に参加してください。  
※荒天等により訓練を延期する場

合は、午前6時30分に決定し、町内放送で周知します。

●問い合わせ  
総務課危機管理室 ☎77-2500

来年度も、地域の自主性高揚を図るため、各地区の自主防災組織(自治会など)の代表者の方に、訓練計画の作成を依頼しています。訓練内容の話し合いや準備の段階から積極的に参加し、皆さんで、災害に強い地域づくりを進めていきましょう。



火災・救急・救助は

 119 消防だより

魚島方面隊林野火災対応訓練

1月21日(火)、魚島において、消防団と消防署による林野火災を想定した合同訓練が行われました。  
今回は、消火栓から遠距離かつ高所で発生した林野火災を想定し、消火訓練を行いました。  
消防署では消防団との訓練を今後も定期的を実施して、連携強化に努めていきます。



令和2年1月出動件数

| 地区 | 弓削 | 生名 | 岩城 | 魚島 | その他 | 合計 | R2累計 |
|----|----|----|----|----|-----|----|------|
| 火災 | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0  | 0    |
| 救急 | 16 | 10 | 6  | 3  | 1   | 36 | 36   |

(令和2年1月31日現在)

上島町消防署 ☎77-4118

令和元年度全国統一防火標語

「ひとつずつ いいね!で確認 火の用心」

幼年消防クラブ退団式

～1年間ありがとうございました～



2月上旬、町内の各保育所において、幼年消防クラブ退団式を行いました。  
退団式では防災DVDの鑑賞の後に防火豆まきを行い、「鬼は外」の大きなな

け声で豆をまき、火遊びに誘う悪い鬼を退治しました。最後に、「ぼくたち、わたしたちは火遊びはしません」と、大きな声で約束し、記念撮影を行いました。

表1 かいよう病に対する感受性

| 感 受 性  | 品 種                               |
|--------|-----------------------------------|
| 発病しやすい | レモン、ネーブル、伊予柑、はれひめ、たまみ、愛媛果試第28号、甘平 |
| 中      | 甘夏類、セミノール、はるみ、不知火、せとか             |
| 発病しにくい | 温州みかん                             |

かいよう病は、かんきつ類に発生する細菌性の病気です。品種により抵抗性が違います。レモン、はれひめ、たまみ、愛媛果試第28号、甘平などはかなりやすい品種です(表1)。



写真1 果実に発生した病斑



写真2 枝に発生した病斑



写真3 ハモグリガ食害痕に発生した病斑

病原菌は伝染性が強く、防除を怠り、台風等の強風をともなう雨にあうと大きな被害が出てしまいます。特にレモンは、かいよう病の被害がでやすいので予防が大切です。

被害の様子

病斑は始め白色の小さなカサブタ状で、後に拡大し褐色の大きな病斑となります(写真1)。激発すると枝と葉に病斑が発生し、これが翌年の発生源となります(写真2)。

感染経路と発病条件

病原菌は葉や枝の病斑部で越冬しており、新しい病斑ほど有力な感染源となります。風雨などで病

病原菌が溶け出し、気孔や傷口から組織内に病原菌が侵入して発病します。菌の増殖は3月頃から始まり、適温は25℃～30℃で、葉や果実の組織が柔らかい時期の強風・多雨条件で多発します。このため、春に気温が高めで強風をともなった降雨があると発生が急激に拡大し、春芽や幼果でも発生します。感染時期は、葉は3cm程度に展葉した頃から6月頃の硬化期までで、果実は直径5～6mmから8月頃までです。ただし、台風などの強風により10月頃まで拡大します。また、夏秋梢にミカンハモグリガの被害を受けると発病しやすくなるので注意が必要です。(写真3)。

防除のポイント

- 1 発病しやすい品種、昨年発生が多かった園では、発芽前に銅剤で必ず防除します。
- 2 台風、大雨、長雨が予想される場合は、降雨前の予防散布が効果的です。また、発病しやすい品種は天候が回復した後に再度防除するのが理想です。
- 3 発病した葉や枝、果実は越冬し次年度の発生源となるので、見つけしだい切除します。また、苗木などミカンハモグリガの防除を徹底します。
- 4 かいよう病に弱い品種を植える場合は、風当たりの少ない園地に行い、生け垣やネットなど防風対策を行います。